

市政に関する 一般質問

今定例会では、26名の議員が一般質問を行いました。発言した全議員の質問及び答弁の一部要約を掲載(氏名下の数字は発言順番)しました。問と答の後には、各議員が今定例会で質問した表題(問)を掲載しています。質問した表題は、紙面の都合上、通告事項を要約したものとなっています。一般質問の詳細や、過去の質問は、会議録をご覧ください。

【会議録の閲覧について】

平成二十一年三月定例会の会議録は、図書館、出張所、議会ホームページ等で閲覧できます。今定例会の会議録については、図書館等では八月下旬頃から、議会ホームページ上では十月上旬頃から閲覧できます。○会議録をご覧ください。所

- ・ 市役所六階 議会事務局
- ・ 市役所東庁舎一階 情報公開窓口
- ・ 市立図書館(四館) 出張所(十箇所)

※印の答弁者は表示者以外の関係部長等の答弁も含まれています。



P.川越 21 石川 智明
社協は不正を隠していた

1

問 一年間以上も不正の事実を隠していた社協に対し、二億円以上も補助金を交付している。不正発覚時の報告義務など、交付規則を見直すべきだ。

答 福祉部長 川越市社会福祉協議会は本市の外郭団体であるが、一社会福祉法人として運営されており、本市とは別人格の法人である。別人格の一法人に対し、指導監督所

轄庁という立場を超え、条例等で報告義務を課することは、難しいと思われる。今後は、指導監督下にある社会福祉法人の指導監査の際に、適正な事務の執行及び事故等が発生した場合の適正な処理・報告について指導してまいりたいと考えている。

○サービスクの二重発行
○校庭の芝生化



P.川越 21 倉嶋 美恵子
孤独死ゼロの地域づくり

2

問 昨年の市内孤独死は四十三名である。孤立者を出さない地域づくりをめざすべきだと考えるが、川越市はどのように取り組もうとしているのか。

答 福祉部長 高齢者虐待や認知症高齢者等について関係機関の連携強化を目的に設置された「川越市要援護高齢者等支援ネットワーク会議」で、ひとり暮らし高齢者の孤独

死対策を検討したい。今後は個人情報保護等も踏まえ、民生委員児童委員協議会、自治会、老人クラブ、社会福祉協議会等の関係機関の連携を強化しながら、郵便物洗濯物の取込、屋内電気点灯等の高齢者の生活の変化に周囲が気づき支えあえる地域づくりを目指していきたい。

○孤独死ゼロを目指して



自民ク 関口 勇
交通問題と交通規制の評価

3

問 「つばさ」効果や「春まつり」による交通問題の影響と交通規制の実施について、交通円滑化の観点から、市はどのように評価しているか。

答 総合政策部長 北部中心市街地では歩行者や休日の周辺駐車場の利用者が増えた。特に一番街では狭い歩道に観光客が集中し車道に溢れ、景観等に気をとられ危険な横断

や車と自転車との錯綜で危険と感じる状況もある。歩行者天国を実施した際、来街者はゆとりある町並み散策ができ、歩行者の安全確保に効果があった。普段以上の観光需要の交通が発生し、周辺部の渋滞は不可避な面もあったが、さらに効果的な車両誘導対策や駐車場対策を進める必要がある。

○公約の交通渋滞対策



自民ク 加藤 昇
新河岸川上流の整備

4

問 新河岸川上流の整備計画を県と検討会を設け、話し合っているとの事。市の考え方と計画内容を伺いたい。

答 ※市長 国のかわまちづくり支援制度や県の新河岸川の水辺再生事業等の施策により、市と地域住民との連携の下、田谷堰上流の遊歩道整備や新河岸川観光舟運の課題及び新設船着場整備検討等、

良好な水辺空間の形成を推進している。川を上手に改修、再生して、散策の場だけでなく親水公園等に利用すれば、健康増進にも役立つ。特に新河岸川の水辺再生は、観光ルートに取り込めば観光資源としても活用できる等大変重要である。今後

も積極的に川を生かしたまちづくりを推進したい。○川を生かしたマチ



自民ク 吉敷 賢
南古谷駅周辺諸問題の解決

5

問 南古谷駅周辺の諸問題解決に向けた今後の進め方について、市はどのような考え方を持っているのか。

答 市長 南古谷駅周辺では北口開設、踏切改良、道路問題等の様々な問題があり、以前より住民要望があることを重々承知している。最近では大型商業施設ができ、住宅の建設が増えている中で、

この問題状況もさらに切実になっている。今後の整備方向は費用面、地域実情等を考慮し、総合的かつ慎重に検討したい。現在、駅改良には自治体が費用の大部分を負担する必要はあるが、鉄道事業者が中心となる駅整備の可能性も考えている。

○南古谷駅周辺の諸問題
○南古谷出張所、公民館
○タウンミーティング



啓政会 山口 智也
なぐわし公園の進捗状況

6

問 仮称川越市新清掃センター新築工事も順調に進み、来年三月完成予定だが、同施設の余熱利用施設「なぐわし公園」の温水プール等の進捗状況は。

答 園温利用型健康運動施設基本計画」を策定した。また、本事業を整備するにあたり本市「PFI活用に関する基本指針」に基づき平成二十年度に

答 都市計画部長 平成十九年十一月本公園の基本的な方針である「なぐわし公園基本計画」を策定し、翌二十年九月には都市計画決定を行い、同年十一月には「なぐわし公

園」を策定し、平成十九年十一月には都市計画決定を行い、同年十一月には「なぐわし公園」を整備する方向性がまとまったところである。また、本市「PFI活用に関する基本指針」に基づき平成二十年度に「PFI導入可能性調査」を実施し、庁内で審議を行い、PFI手法により推進する方向性がまとまったところである。



民主党 片野 広隆
頑張る父子家庭へ支援を！

7

問 生活に困窮するひとり親家庭でも母子と父子では行政支援に格差がある。父子家庭に対しても児童扶養手当等と同様の支援制度の実施を市長に問う。

答 市長 経済的に困窮する父子家庭に対し、児童扶養手当と同様の手当の支給や、父子家庭に着目した手当を独自に支給する自治体が、全国的に増えてきていることは承知

している。国においても児童扶養手当が父子家庭には一律に適用除外されていることが取り上げられ、関係閣僚が見直す必要があるのではないかと答弁していると伺っている。今後、本市としても国の動向も見据えながら、父子家庭に対する独自の支援策について検討する必要があると考える。

問 ひとり親家庭への支援



公明党 大泉 一夫
川越市のマスコット選定を

8

問 川越市は今「つばさ」効果で全国的な知名度が上っている。今こそ市民等から市のキャラクターを公募して選定すべきと思うが市の見解を伺う。

答 産業観光部長 マスコットを公募し選定することにより関心が高まる上、市民参加という点からも様々な効果が期待できる。今後、広報紙やホームページ等でマスコットキャラ

クターを一般公募したい。その上で、必要であればデザイン的にも修正しながら着ぐるみを製作したい。また、その他の活用法として、一定の手続きは必要だが、マスコットキャラクターを商品包装紙等に広く利用して頂きたいと考えている。

問 中核市移行の検証
問 市のマスコットの選定
問 視覚障がい者支援策



公明党 須賀 博
介護保健施設整備への取組

9

問 特別養護老人ホームへの入居希望待機者は七百三十余名程といわれるが、第四期介護保険事業計画における市の施設整備の取り組みは、いかがか。

答 福祉部長 特別養護老人ホームの整備は平成二十二年に五十床増、二十三年に九十床新設と五十床増、介護老人保健施設は平成二十三年に百床新設を計画している。

施設は平成二十三年に百床新設を計画している。

問 観光案内所



やまぶき同志会 若海 保
学校給食の現状と課題

10

問 食物アレルギー疾患を抱える児童・生徒と保護者の「友達と一緒に学校給食を食べたい」という思いを受けとめ、可能な対応を進めるべきでは。

答 学校教育部長 学校給食の時間はみんなと楽しく食事をする時間であり、学校生活の中でも記憶に残る楽しい時間であってほしいと考えている。共同調理場でアレルギー対応

問 川越第二産業団地の工場建設が九月より始まる。周辺地域の生活環境に大きな影響を及ぼすことになるが、この点について今後の整備計画を伺う。

答 都市計画部長 仮称川越東環状線については国道二五四号との交差点を改良した。現在はこの整備地点から川越工業団地までを二車線に拡幅中である。更に、東環状線

の終点となる古谷上の国道一六号との交差点でも外環状線とスムーズに交差させるため、国や県と外環状線のルート変更を含めて検討している。産業団地の雨水排水を放流する古川排水路の水流の悪さを改善すべく、放流部の上流を浚渫したが、今年度には下流側も浚渫すると聞いている。第二産業団地の諸課題

の終点となる古谷上の国道一六号との交差点でも外環状線とスムーズに交差させるため、国や県と外環状線のルート変更を含めて検討している。産業団地の雨水排水を放流する古川排水路の水流の悪さを改善すべく、放流部の上流を浚渫したが、今年度には下流側も浚渫すると聞いている。第二産業団地の諸課題